

公表

事業所における自己評価総括表

(別紙3)

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山昭和校			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 5日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われるこ ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門的支援体制が整っている。	保育士経験5年以上の職員がいるため、豊富な知識を活かし支援に取り入れることや、保護者への助言に繋がるように取り組んでいる。	今後も、専門知識を活かし、プログラムを考案していく。また、保護者支援にも力を入れていく。
2	・個別療育と集団療育のどちらも行い、楽しんで参加いただいている。	個別支援の他に、友だちと関わる時間も設けることで、どちらの要素も取り入れた支援内容の提供を行う事が出来ている。	今後も継続していくながら、支援内容をより充実したものにしていく。利用者様が皆楽しんで参加できる療育を提供していく。
3	・利用者様だけでなく、ご家族様や関係機関との連携が図れている。	随時面談は受け付けており、ご家族様と情報共有を密にとっている。また、学校や園、病院、相談支援事業所等への訪問を行い、連携をとっている。	今後も継続した連携を行い、ご家族様や関係機関との連携を深めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われるこ ※事業所の課題や改善が必要だと思われるこ	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の方々との交流。	SNSやパンフレットを通して、地域の方々への周知を行うが、交流できるイベント等を開催したことがないため、交流する機会がない状況。	イベント内容を検討し、地域の皆さんにも参加しやすい内容や、興味を示していただける内容を検討し、周知していく。
2	・保護者同士、兄弟児との関わり。	保護者や兄弟児との関わりとして、ワークショップを開催し、参加いただいている。しかし、参加が少ない状況。	時間や内容を工夫して、参加しやすい環境を整えていく。
3	・施設の規模が狭い。	個別の活動では、パーテーションを使用しながら、狭すぎず広すぎない支援室を提供している。しかし、粗大運動等激しい活動をする際は、ホールが狭く難しい。	机や椅子の配置を工夫する。また、パーテーションでのしきりの間隔を狭める等の工夫を行うが、限界がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山昭和校

利用児童数

24

回収数： 17

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2	1	0	場所のスペースについては、子どもの特性が関係するため一概に広い、狭いの判断は難しい。施設自体が少し狭いと感じる	活動に合わせて、パーテーション等を利用しながらスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	0	1対1でよくみていただき、ありがとうございます。	今後も適切な職員配置に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	4	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	0		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	2	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2	0	0	子どもが飽きずに毎回楽しんでいる。	継続して工夫してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	2	5		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
保護者への説	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	0	2		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていますか。	16	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	1		

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	2	5	きょうだい向けはわからない	親子での参加のワークショップやママカフェ等を実施し、保護者様同士の交流の機会を設けております。きょうだい間での交流が持てるような時間を検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	2	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	3	まだ、訓練の実際がわからないため。	月1回の防災訓練を実施し、玄関の掲示板にお知らせしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	活動後の成長の、変容を感じられる。	利用者様に寄り添い、安心して利用できるように整えていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	3	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0		

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用者様と指導員1名が活動しやすい広さを提供させていただいております。運動を行う場合は支援室外の広い場所で行えるよう配慮しております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		適切な人数で対応できるようにシフトも工夫しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		パーテーションを使用し、利用者様にとってわかりやすい環境を設定しております。 バリアフリー化に関しては、不足な部分（急な階段等）もあるため、大家さんと相談を続けております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃、消毒、換気を定期的に行う事で、心地よく過ごせる環境に配慮しております。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別の支援室を使用して、過ごせる環境を整えております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員間で定期的に会議を行いながら、業務改善について話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年、保護者様に事業所評価をお願いし、回答結果について内容や改善点を職員間で話し合いを行っております
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援前後や、会議の場等で、職員同士話し合う場を設け改善に繋げております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	書式を伴うしっかりとしたものは行っておりませんが、監査等で評価していただいております。場合によっては、第三者の外部評価を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		内部研修、外部研修に定期的に参加することで、職員の技術の向上に繋げています。
支援計画	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムが固定化しないように、個々の特性や、ニーズに応じて作成しております。また、支援プログラムの公表が義務化となり、都道府県に届出をしております。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画の更新時期に保護者様との面談を通して、利用者様・保護者様のニーズを聞き取り、アセスメントを行うことで、個々に応じた支援計画の作成に努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		日頃の支援状況や保護者様からのご意見を参考にしながら、個々に必要な支援を把握し、職員全体で会議をして、計画の作成を行っております。

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	計画内容を会議にて全員で共有しております。また、計画に沿ったプログラムを実施しております。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	アセスメント表を元に、日々の行動観察を行いながら、状況の確認しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	児発管のガイドラインに沿って、ねらい及び支援内容を踏まえながら設定しております。その中で、利用者様・保護者様にとって必要なニーズに沿って、支援内容を組ませていただいております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	前回の支援の様子を共有したり、次の支援内容を話し合ったり、相談しながらプログラムを立案しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	活動プログラムが固定化しないように、利用者様の様子に合わせて、職員間で話し合いながら立てております。また、個別・グループ療育、それぞれの内容を職員間で話し合いながら工夫しております。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	利用者様の状況に合わせて、個別活動・集団活動を組み合わせて計画書を作成しております。また、個別活動だけでなく、集団活動にも参加できるように、月1回のグループ療育も実施しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	入念に引き継ぎを行い、職員同士連携して切れ目のない支援を行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	振り返りの内容や気づいた点を職員間で話し合い、次回の支援に繋げております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援終了後は記録を書き、次回の支援の改善に繋げております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6か月に1回、児発管がモニタリング面談を実施し、計画の見直しもさせていただいております。
開	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	主に児発管が参加し、必要に応じて担当職員も参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	月に1回、地域の相談支援事業所等を訪問し、利用者様の様子を共有させていただいております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	必要に応じて、利用者様が通園している保育所、認定こども園、幼稚園等に訪問し、情報共有を行っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	必要に応じて、サービス担当者会議に参加し、情報共有や相互理解を図っております。
		(28~30は、センターのみ回答)		

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターの研修を定期的に受けたり、意見交換をして、連携を図っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。		○	現在のところ、保育所や認定こども園等の交流、地域の中で他の子どもと活動する機会はありません。今後、ご要望がありましたら、検討させていただきたいと思っております。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		今後も保護者様のご協力を得ながら、支援終了後のフィードバックや家族支援（面談）等を行い、利用者様について共通理解を図ってまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアトレ研修受講完了の職員が対応させていただいております。保護者様等の参加できる研修があれば、都度提供させていただきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に、詳しい内容について説明させていただいております。今後も、何かご不明点がございましたら、いつでもお聞きください。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		引き続きフィードバックの際にお話を伺ったり、定期的な面談にて保護者様や利用者様のご意向の確認を続けていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容について、保護者様に安心していただけるよう丁寧な説明を心掛け、保護者様から同意を得ております。
保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバックや、必要に応じて面談の時間も設けながら、助言や支援を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ワークショップを通して、実際の支援を体験したり、保護者間での交流を目指しております。開催は少ないですが、ご家族、ご兄弟も参加できる機会を増やしていきたいと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いただいた内容について、職員間で迅速に対応、共有しています。体制の整備等も含めながら、再発防止に向けて努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		XやInstagram、LINE等のSNSを通して、情報をお伝えしております。今後も、利用者様の活動の様子や予定等をお伝えしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関するものは、鍵付きのロッカーで保管し、厳重かつ丁重に扱わせていただいております。個人情報漏洩等がないように職員内でも周知徹底しています。

非常時等の対応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、視覚提示を活用しながら、意志疎通や情報伝達の配慮をしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	事業所の活動について地域の皆様にパンフレットやSNSでお知らせさせていただいておりますが、招待する等はまだできておりません。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルを策定しております。また、月に1回、様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		BCPの策定と発生に備えた研修を定期的に行い、職員間での周知徹底をしています。また、ご利用者様との防災訓練も続けていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		契約時に、服薬や発作等の確認を行っております。配慮が必要なお子様に関しては、職員間で共有し、臨機応変に対応できるよう、努めています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		事前に食物アレルギーの確認を行っております。おやつ提供の際は、事前確認の他に、提供するお菓子に含まれるアレルギーを表にまとめ、保護者様へ確認しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を作成し、研修や訓練を行っています。今後も、安全管理を十分に行いながら支援を行っていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		契約時に安全確保についての説明をさせていただいております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットが発生した際は、迅速に職員で共有し、再発防止に向けて話し合いを行っています。未然に防ぐができるよう、職員一人ひとり徹底して意識してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止に関する研修を行い、職員同士での周知を進めております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		契約時に身体拘束についてのお知らせと、保護者様の同意を得ております。合わせて支援計画にも記載し、周知に努めています。また、やむを得ず行う場合には、安全確保を行った上で対応と、経緯説明をさせていただきます。